

# 5年① 心の健康

## ●指導順序

単元計画配当	内容のまとめり(新学習指導要領)	指導順について
第1時	(ア) 心の発達	必ず単元の最初に取り扱う。
第2時	(イ) 心と体との密接な関係	(ア)の学習後に取り扱うことが望ましい。
第3時	(ウ) 不安や悩みへの対処	(ア)(イ)の学習後に取り扱うことが望ましい。

## ●学校の授業及び学校の授業以外の場での取り扱い

学習内容や学習活動に応じて、取り扱いを判断することが望ましい。

「学習活動と評価の計画」の「時間」欄に、取り扱いの分類を示す。

分類	学習内容や学習活動の別	時間数
学	学校の授業が必要な時数 教師による適切な指導が必要な内容や、話し合い・実習などが必要なもので、 <b>学校での指導が望ましいもの。</b>	3
▲	学校での指導が望ましいが、学校の指導計画や実施できる時間数によっては、 <b>学校の授業以外の場での学習が可能なもの。</b>	0

## ●単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することを理解している。</li> <li>心と体には、密接な関係があることを理解している。</li> <li>不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを理解しているとともに、技能を身に付けている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康・安全の大切さに気付き、心の健康についての学習に進んで取り組もうとしている。</li> </ul>

●学習活動と評価の計画

- ★1 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動を除いた、学校の授業が必要な時数
- ★2 【知・技】…知識・技能、【思・判・表】…思考・判断・表現、【態度】…主体的に学習に取り組む態度
- ★3 学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動の概要、配当時数

時間（教科書ページ）	学校での授業時間 ★1	学習活動・内容	評価規準と評価の観点 ★2	学校の授業以外の場での学習が可能なもの ★3
第1時 (p.8-9) 学	第1時	<u>1 心の発達</u> 1. 本時の課題を理解する。 2. 心のはたらきと発達について学習する。 3. 感情、社会性、思考力の発達について学習する。 4. 学習したことを活用し、学びを深める。 5. 学習のまとめをする。	・心の発達について、教科書や資料を見たり、自分の経験を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。【態度】 ・心の発達について、自分の経験や生活を振り返ったり、友達の話をもとに予想したりするなどして、それらを説明している。【思・判・表】 ・心はいろいろな生活経験を通して、年齢とともに発達することについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】	
第2時 (p.10-11) 学	第2時	<u>2 心と体のつながり</u> 1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。 2. 自分の経験を振り返って考える。 3. 心と体が密接に関わり合っていることについて学習する。 4. 学習したことを活用し、学びを深める。 5. 学習のまとめをする。	・心と体がどのように関係しているのかについて、自分の経験や生活を振り返って、進んで考えようとしている。【態度】 ・心と体の関係について、自分の経験を振り返ったり、友達の話をもとに予想したりするなどして、それらを説明している。【思・判・表】 ・心の状態が体に、体の状態が心に影響を及ぼすことについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】	
第3時 (p.12-13) 学	第3時	<u>3 不安や悩みがあるとき</u> 1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。 2. 友達の悩みについて知る。 3. 不安や悩みの対処の方法を学習し、簡単な対処の方法ができるようにする。 ※実習の際は、感染症対策を十分に行う。 4. 学習したことを活用し、学びを深める。 5. 学習のまとめをする。	・不安や悩みについて、自分の経験などをもとに友達と話し合うなど、学習に進んで取り組もうとしている。【態度】 ・不安や悩みへの対処のしかたについて学習したことを、自分の生活にあてはめて、説明している。【思・判・表】 ・不安や悩みは自分に合った方法で対処できることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。不安や悩みへの対処として、体ほぐしの運動や呼吸法などを身に付けている。【知・技】	

◆新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の取り組みを行い学校における指導を充実したとしても、なお、年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終えることが困難である場合、内容の一部を次学年等に移して指導することも考えられる。その際は、教員間の引継ぎを徹底するなど、遺漏のないよう配慮されたい。

## 5年② けがの防止

第5学年 ●教科書 p.17～32 ◆配当授業時数5時間

### ●指導順序

単元計画配当	内容のまとめり(新学習指導要領)	指導順について
第1～4時	(ア)交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止	第1時は単元の最初に取り扱う。第2～4時は順不同。
第5時	(イ)けがの手当	(ア)の学習後に取り扱うことが望ましい。

### ●学校の授業及び学校の授業以外の場での取り扱い

学習内容や学習活動に応じて、取り扱いを判断することが望ましい。

「学習活動と評価の計画」の「時間」欄に、取り扱いの分類を示す。

分類	学習内容や学習活動の別	時間数
学	学校の授業が必要な時数 教師による適切な指導が必要な内容や、話し合い・実習などが必要なもので、 <u>学校での指導が望ましいもの</u> 。	3
▲	学校での指導が望ましいが、学校の指導計画や実施できる時間数によっては、 <u>学校の授業以外の場での学習が可能なもの</u> 。	2

### ●単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解している。</li> <li>・けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、技能を身に付けている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・安全の大切さに気付き、けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。</li> </ul>

●学習活動と評価の計画

- ★1 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる教材・学習活動を除いた、学校の授業が必要な時数
- ★2 【知・技】…知識・技能、【思・判・表】…思考・判断・表現、【態度】…主体的に学習に取り組む態度
- ★3 学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動の概要、配当時数

時間(教科書ページ)	学校での授業時間 ★1	学習活動・内容	評価規準と評価の観点 ★2	学校の授業以外の場での学習が可能なもの ★3
第1時 (p.20-21) 学	第1時	<p><u>1 けがの原因</u></p> <p>1. 学習ゲームに取り組み、本時の課題を理解する。</p> <p>2. けがに関する経験を話し合う。</p> <p>3. 具体的な場面を例にとり、危険の予測について学習する。</p> <p>4. 学習したことを活用し、学びを深める。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p>	<p>・教科書や資料を見たり、自分の生活を振り返ったりしながら、進んで危険な行動や場所を見つけようとしている。【態度】</p> <p>・具体的な場面を例にとり、けがの原因について、人の行動と周りの環境から考え、説明している。【思・判・表】</p> <p>・けがは人の行動や周りの環境が関わって起こることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】</p>	
第2時 (p.22-23) 学 ▲	第2時	<p><u>2 交通事故によるけがの防止</u></p> <p>1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。</p> <p>2. 具体的な場面を例に、交通事故のけがの原因や防止の方法を学習する。</p> <p>3. 学習したことを活用し、学びを深める。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p>	<p>・交通事故によるけがの防止について、教科書や資料を見たり、自分の生活を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。【態度】</p> <p>・交通事故によるけがの防止に関わる事象から課題を見つけ、危険の予測や回避する方法を考え、書いたり説明したりしている。【思・判・表】</p> <p>・交通事故によるけがを防止するためには、周囲の状況をよく見極め、危険に早く気づいて、的確な判断の下に安全に行動することが必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】</p>	○教科書p.22, 23の具体的な場面について、予測される危険と回避の方法を考え、記入する活動(0.5時間)
第3時 (p.24-25) 学 ▲		<p><u>3 身の回りで起こるけがの防止</u></p> <p>1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。</p> <p>2. 具体的な場面を例に、身の回りでけがの原因や、防止の方法を学習する。</p> <p>3. 学習したことを活用し、学びを深める。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p>	<p>・身の回りで起こるけがの防止について、教科書や資料を見たり、自分の生活を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組んでいる。【態度】</p> <p>・身の回りで起こるけがの防止に関わる事象から課題を見つけ、危険の予測や回避する方法を考え、書いたり、説明したりしている。【思・判・表】</p> <p>・身の回りで起こるけがを防止するためには、周囲の状況をよく見極め、危険に早く気づいて、的確な判断のもとに安全に行動することが必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】</p>	○教科書p.24, 25の具体的な場面について、予測される危険と回避の方法を考え、記入する活動(0.5時間)

時間 (教科書ページ)	学校での授業時間 ★1	学習活動・内容	評価規準と評価の観点 ★2	学校の授業以外の場での学習が可能なもの ★3
第4時 (p. 26-27) 学 ▲	第3時	<b>4 犯罪被害から身を守る</b> 1. 前時の復習をし、本時の課題を理解する。 2. 具体的な場面を例にとり、犯罪被害から身を守る方法を学習する。 3. 学習のまとめをする。	・犯罪被害から身を守ることについて、教科書や資料を見たり、自分の生活を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組んでいる。【態度】 ・犯罪被害から身を守ることに関わる事象から課題を見つけ、危険の予測や回避する方法を考え、それらを説明している。【思・判・表】 ・犯罪被害から身を守るためには、周囲の状況をよく見極め、危険に早く気づいて、的確な判断の下に安全に行動することが必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。【知・技】	○教科書p. 26, 27の具体的な場面について、予測される危険と回避の方法を考え、記入する活動 (0.5時間)
第5時 (p. 30-31) 学 ▲		<b>5 けがの手当</b> 1. 本時の課題を理解する。 2. けがをしたときの行動について学習する。 3. 実習を通して、簡単なけがの手当ができるようにする。 ※実習の際は、感染症対策を十分に行う。 4. 学習したことを活用し、学びを深める。 5. 学習のまとめをする。	・けがの手当について、教科書や資料などを見たり、自分の生活を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。【態度】 ・けがの手当に関わる事象から課題を見つけ、けがを悪化させないためにどうすればよいか、考えたことを説明している。【思・判・表】 ・けがの手当はできるだけ速やかに行う必要があることについて、理解したことを言ったり、書いたりし、また、簡単な手当のしかたを身に付けている。【知・技】	○生活のなかでけがをしたときにどのような行動をしているかを振り返る活動 (0.5時間)

◆新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の取り組みを行い学校における指導を充実したとしても、なお、年度当初予定していた内容の指導を本年度中に終わることが困難である場合、内容の一部を次学年等に移して指導することも考えられる。その際は、教員間の引継ぎを徹底するなど、遺漏のないよう配慮されたい。